

保護者配布版

久米っ子だより

2025年5月26日 第4号

<http://www.kuwana-c.ed.jp/kume-e>



体力テストに取り組んでいます！

毎年この時期になると全校で体力テストに取り組みます。「テスト」というと何かの試験のような印象を受けますが、子どもたちそれぞれの体力・運動能力の把握のために行っています。実施後に久米小の結果について集約し、体育の授業や行事等に活かしていきます。実施項目は「50m走」「握力」「シャトルラン」「反復横跳び」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「上体起こし」「ソフトボール投げ」の8項目です。「50m走」と「握力」以外は、なかよし班で実施しました。高学年の子とペアを組み、やり方を教え、教えられながらという姿は微笑ましかったです。



たんぽぽ学級（特別支援学級）について

5月も半ばを過ぎて、日中はずいぶん気温が上がってきました。熱中症には十分注意していきましょう。ご家庭におかれましても、多めに水分を持たせていただくなどのご配慮をお願いします。

さて、今年度久米小学校では18人の子どもたちがたんぽぽ学級に在籍し、インクルーシブ教育の理念（特別な支援が必要な者もそうでない者も共に学ぶ仕組み）の元、日々教育活動を行っています。久米小学校では、子どもたちが新年度の学校生活にも慣れてきたこの時期に、改めて「たんぽぽ学級」について知り、理解することで、誰もが安心して通える学校づくりの一助としていこうと取り組んでいます。「誰もが安心して通える学校づくり」は保護者や地域の皆様のご協力が必須です。そこでたんぽぽ学級とはどんなところで、どんなことをしているのかについてご紹介したいと思います。どうぞご理解とご協力をお願いします。

<たんぽぽ学級とは>

たんぽぽは根がとてもしっかりとした植物です。「大地にしっかりと根を張り、太陽のように明るく健やかに」という思いをこめて「たんぽぽ学級」と名付けられました。たんぽぽ学級は、学習していく上で特別な支援（手助け）が必要であり、その子に合った方法や環境、ペースで学

習したい子どもたちのための学級です。成長していくための基礎や根っこになる土台作りのために必要なことを学ぶ学級です。

＜特別な支援とは＞

子どもによって、具体的にどんな支援（手助け）が必要なのかは異なります。例えば、

- ・遠くや近くのものがみえづらいから眼鏡をかけている
- ・足が不自由な人がつえや車いすを使う
- ・覚えることが苦手なので、絵や道具を使ってその人に合った方法・ペースで覚える
- ・長時間の活動は疲れやすいので、途中で休憩をとったり一つの活動を短くしたりする

といったことがあるのと同じで特別な支援は人それぞれです。ほんの少しの工夫や手助けで、支援が必要な人はとても楽になったり過ごしやすくなったりします。その人に合った手助けをしていくこと、その人に合った方法を探していくことが特別な支援だといえます。

＜たんぽぽでの学習について＞

基本的には、原学級の子どもたちと同じように学習していますが、その子に必要な学習やトレーニングを、その子に合った方法やペースで取り組んでいます。いろいろな学年の子どもが在籍していますので、学年別や個別に学習することが多いです。それぞれに必要な学習内容は、一人ひとりが違うからです。たんぽぽ学級の子ども全員で一緒に活動することもあります。

（全員で一緒にする活動）たんぽぽ体育、たんぽぽ生活、畑作業など

（個別の学習）子どもたちの学力・理解力等に応じた国算理社などの学習

社会生活を送る上で必要なソーシャルスキルトレーニングや体幹トレーニング

上記の学習やトレーニングを行うために、たんぽぽ教室にはさまざまな学習教材があります。一見おもちゃのように見える物もありますが、遊ぶための物ではなく、全てこれからの社会をよりよく生きていくために必要な力をつけるための教材です。体幹トレーニングなど、遊びに見える活動も、それがその子にとっては必要な学習活動なのです。

＜みんな久米小の一員で仲間＞

得意なことや苦手なことは誰にでもあります。それなのに苦手なことやみんなと違うところだけを見て、優劣や上下をつけ、差別的ともとれる発言や行動をすることはおかしいことですし、許されることではありません。みんな同じ目的で（社会をよりよく生きるために必要なことを学ぶ）学校に通っている仲間です。お互い「相手を思いやる」心を持って、共に学校生活を安心して過ごせるよう学校づくりを進めていきたいと考えます。